

理学療法学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（理学療法学）】

| 学部の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条） | 学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条） |
|---|---|
| 豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療及び保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会及び国際社会において活躍できる人材を育成する。 | 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を身につけ、科学的根拠に基づいた理学療法の専門的知識と技術を習得し、地域社会及び国際社会でチーム医療の一員として活躍できる人材を育成する。 |

| ディプロマ・ポリシー | | | カリキュラム・ポリシー | アドミッション・ポリシー |
|------------------------|-----|--|---|---|
| DP1 知識・理解 | (1) | 理学療法士に求められる倫理的態度を理解している。 | <p>社会人、医療人として必要とされる広範で多様な基礎的知識と基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する全学共通科目として基礎科目、教養科目、総合科目、言語・情報科目を配置する。特に、理学療法士になることへの強い意志と自覚を持たせ、学習意欲を高め、理解力と行動力を身につけるために、1年次・2年次では「基礎ゼミ」「応用ゼミ」、3年次では「研究ゼミ」「理学療法計画論Ⅰ」「理学療法計画論Ⅱ」、4年次では「卒業研究」「理学療法総合演習」といった少人数制によるきめ細やかな教育体制を整備した。加えて「婦人学科」「ウイメンズヘルス」といった女性の見識を深める科目を整備した。</p> <p>専門基礎科目と専門科目では系統的な積み重ね学習を行うように講義と実技実習を交互に配置・開講し、幅広い視点を身につけると共にチーム医療の中で働く専門職としての共通認識を育むために看護学科との共通の講義も開講する。</p> <p>このような教育成果として学生の知識・技能・態度を評価するために臨床実習前では客観的臨床能力試験（OSCE: Objective Structured Clinical Examination）を実施し、臨床実習後では卒業試験を課して、女性理学療法士としての清潔さ、誠実さ、忍耐力をも確認する体制を整備した。</p> <p>以上をふまえて、医療・医学分野における科学的根拠に基づいた専門知識と臨床能力を段階的に学び、幅広い教養を修得し、心理面を含めて人を総合的に把握できる理学療法士を養成する。</p> | <p>理学療法学科では、以下のような学生を求めます。</p> <p>1. 関心・意欲・態度 活動を通してひとの役に立てることに生きがいを感じる人</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力 問題解決のために努力を惜しまない姿勢を持ち、物事に対する理解力と行動力を身につけようとする人</p> <p>3. 協調性・主体性 個別学習および集団学習で習得した理学療法の知識・技術を使って医療・地域社会に貢献しようとする意志の強い人</p> <p>4. 知識・技能 自己学習力があり、高等学校までに学ぶべき教科（理科、数学、国語、英語、社会）を習得し、理学療法を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人</p> <p>このような学生を得るために多様な方法で選抜します。</p> |
| | (2) | リハビリテーション医学に関する標準的な知識を身につけている。 | | |
| | (3) | 対象者を精神的、身体的および社会的側面から理解している。 | | |
| DP2 汎用的技能 | (1) | 理学療法学領域や関連する学問領域の知識・手段を活用することができる。 | | |
| | (2) | 対象者の症状および病態、障害をリハビリテーション医学的に分析し、論理的に表現することができる。 | | |
| | (3) | 理学療法の専門性に基づき、保健・医療と福祉の連携のためにチーム医療の一員として行動することができる。 | | |
| DP3 態度・志向性 | (1) | 対象者とその家族のために社会的責任を果たそうとする態度を示すことができる。 | | |
| | (2) | 対象者の健康を維持、増進するための理学療法の修得を志向することができる。 | | |
| | (3) | 様々な国の人・文化を理解し、理学療法士として国際的な視野をもつことができる。 | | |
| DP4 統合的な学習経験と創造的思考力 | (1) | 人間と社会、自然と環境について常に関心を持ち、主体的に学習を続けることができる。 | | |
| | (2) | 急性期医療から地域ケアにいたる課題を科学的根拠に基づいて探求することができる。 | | |
| | (3) | 国際的視野を持ちながら理学療法の専門性および新たな方向性を常に探究し続けることができる。 | | |